

JOYO BANK NEWS LETTER

2026年1月5日

株式会社日本政策投資銀行との協働によるファンドの設立について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、地域企業の持続的な成長と地域経済のさらなる発展を目指し、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 地下 誠二、以下「DBJ」）と共同して、「いばらき花めく投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）を組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当ファンドは、当行の営業基盤である茨城県およびその近隣エリアにおいて、地域企業が直面する「新たな成長分野への投資」「財務基盤の強化」「円滑な事業承継」等の重要な経営課題の解決に向けた取り組みを資金面から支援することを目的として設立しました。多様な金融サービスのノウハウを有するDBJと連携し、劣後ローン^{*1}や優先株式^{*2}等の資本性資金を提供することで、地域企業の成長を力強く支援してまいります。

当行グループは、本ファンドを通じて地域企業を支援し、地域社会および地域経済の発展に貢献してまいります。

※1 法的破綻時に返済順位が他の債権よりも劣後するローンであり、その資本性から、金融機関の審査において自己資本とみなされる場合があります。

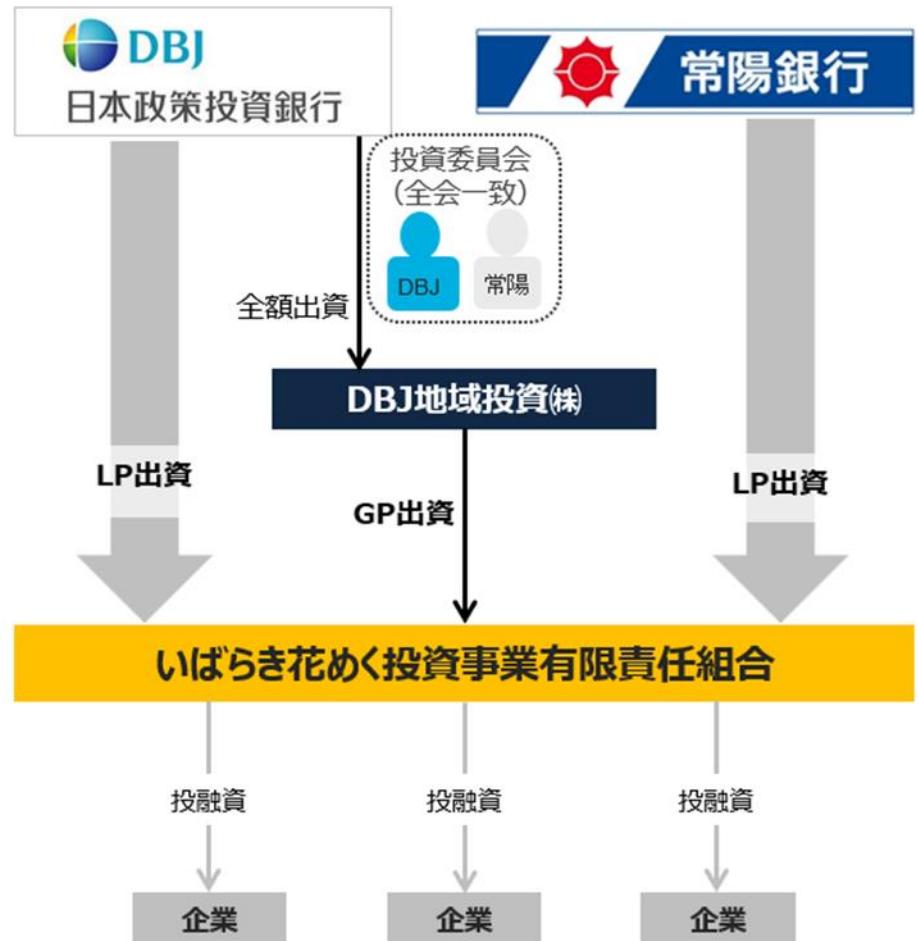
※2 普通株式に比べて配当金や残余財産の分配を優先的に受けることができる一方、議決権が付与されない設計も可能となるため、経営権（議決権）を維持した形での資本増強が可能となります。

記

1. 本ファンドの概要

名 称	いばらき花めく投資事業有限責任組合
設 立 日	2026年1月1日
ファンド総額	20億円
投 資 対 象	茨城県及び近隣エリアにおいて、成長資金・資本増強・事業承継等のニーズを持つ企業
目 的	地域企業の課題解決をリスクマネー供給により支援し、持続的な成長と地域経済の活性化を目指す
無限責任組合員 (GP)	DBJ 地域投資株式会社
有限責任組合員 (LP)	株式会社日本政策投資銀行 株式会社常陽銀行

(ご参考) ファンドのスキーム図



以上